

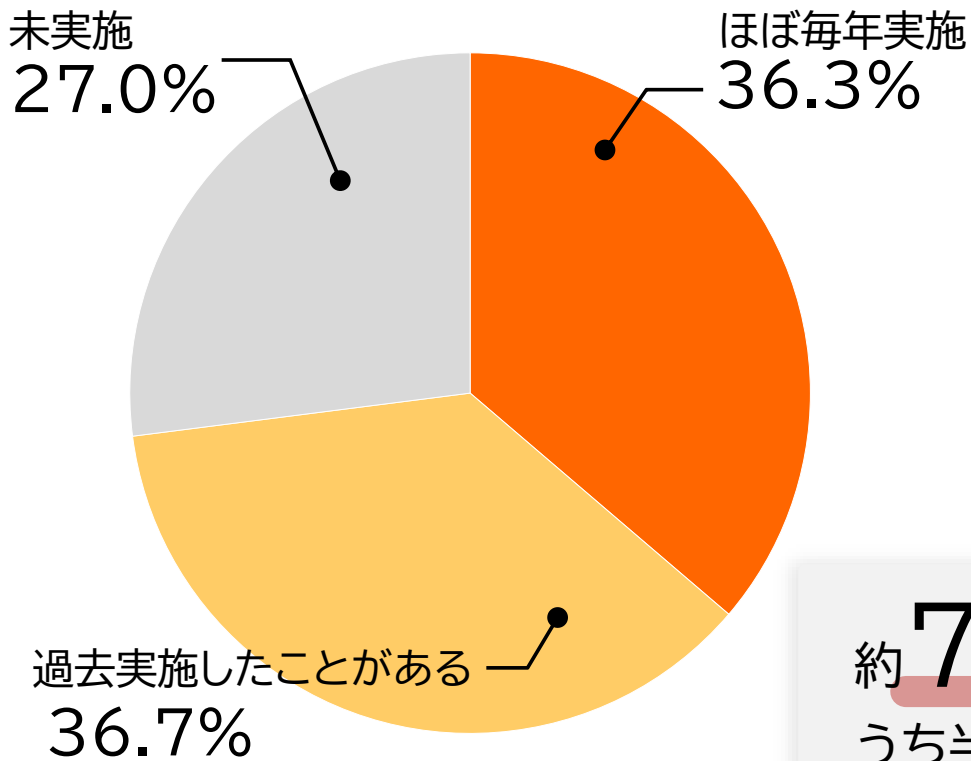
京都市避難所運営マニュアル改定に向けた 自主防災会アンケート 集計結果

回答数:182学区/227学区 回収率:80.1%

〔参考〕 避難所運営マニュアルの作成・改定状況

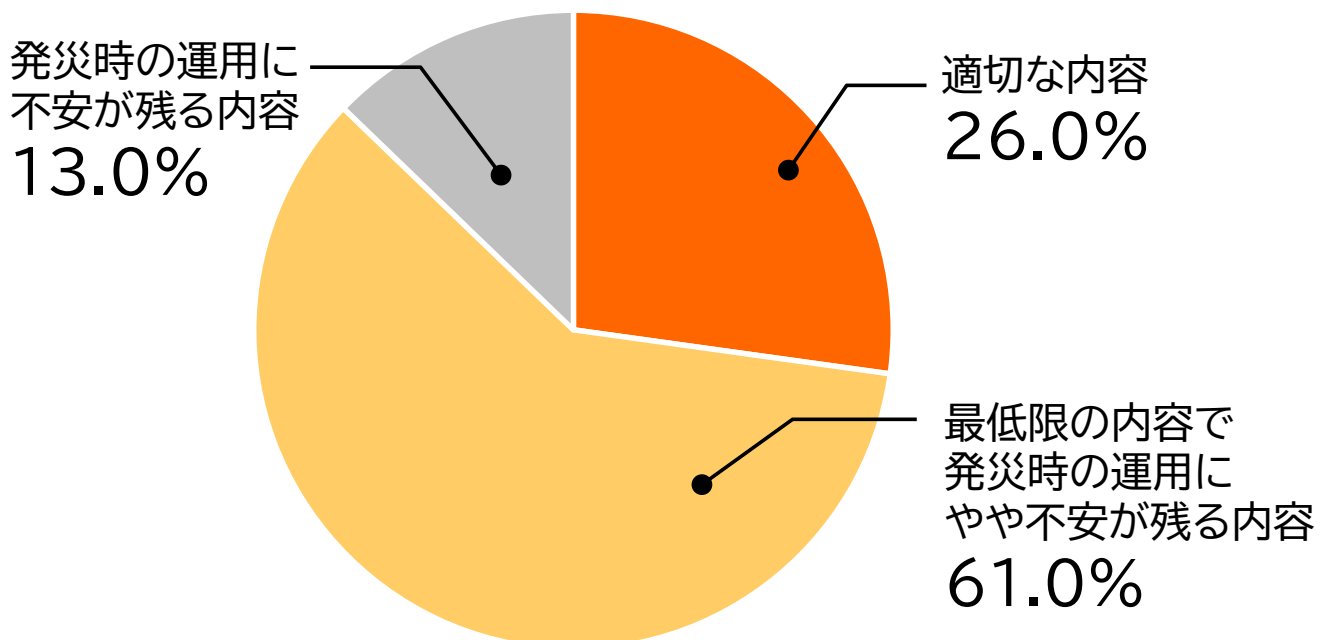
- 約**8割**の避難所が平成24年～26年度の**当初3年間に作成**
- 約**4割**が改定実施済み
- 約**1割**が高頻度に(10回以上)改定、1割が1回のみ改定

訓練実施状況



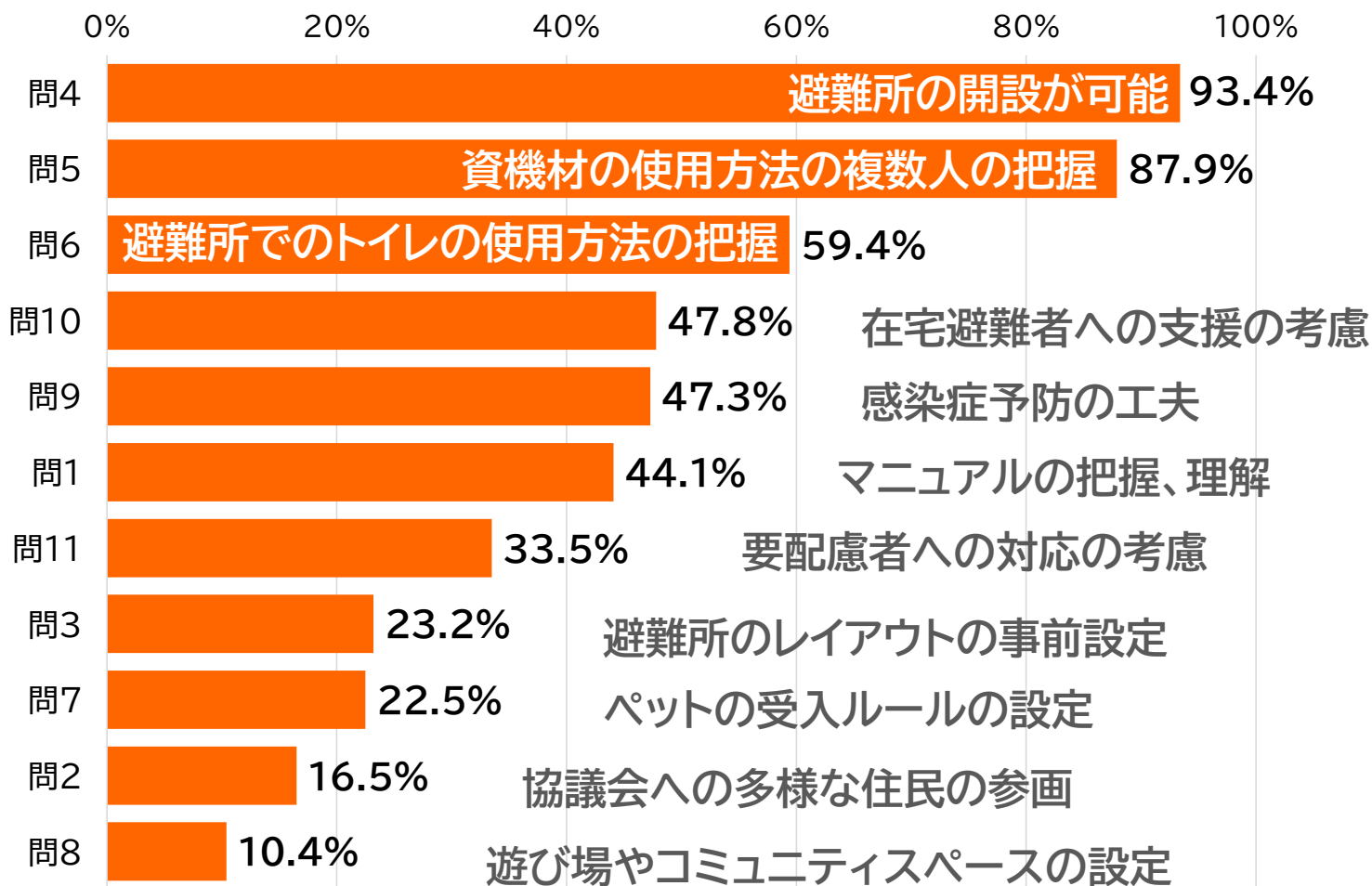
約 **7割が実施**
うち半数はほぼ毎年実施

各避難所運営マニュアルの評価

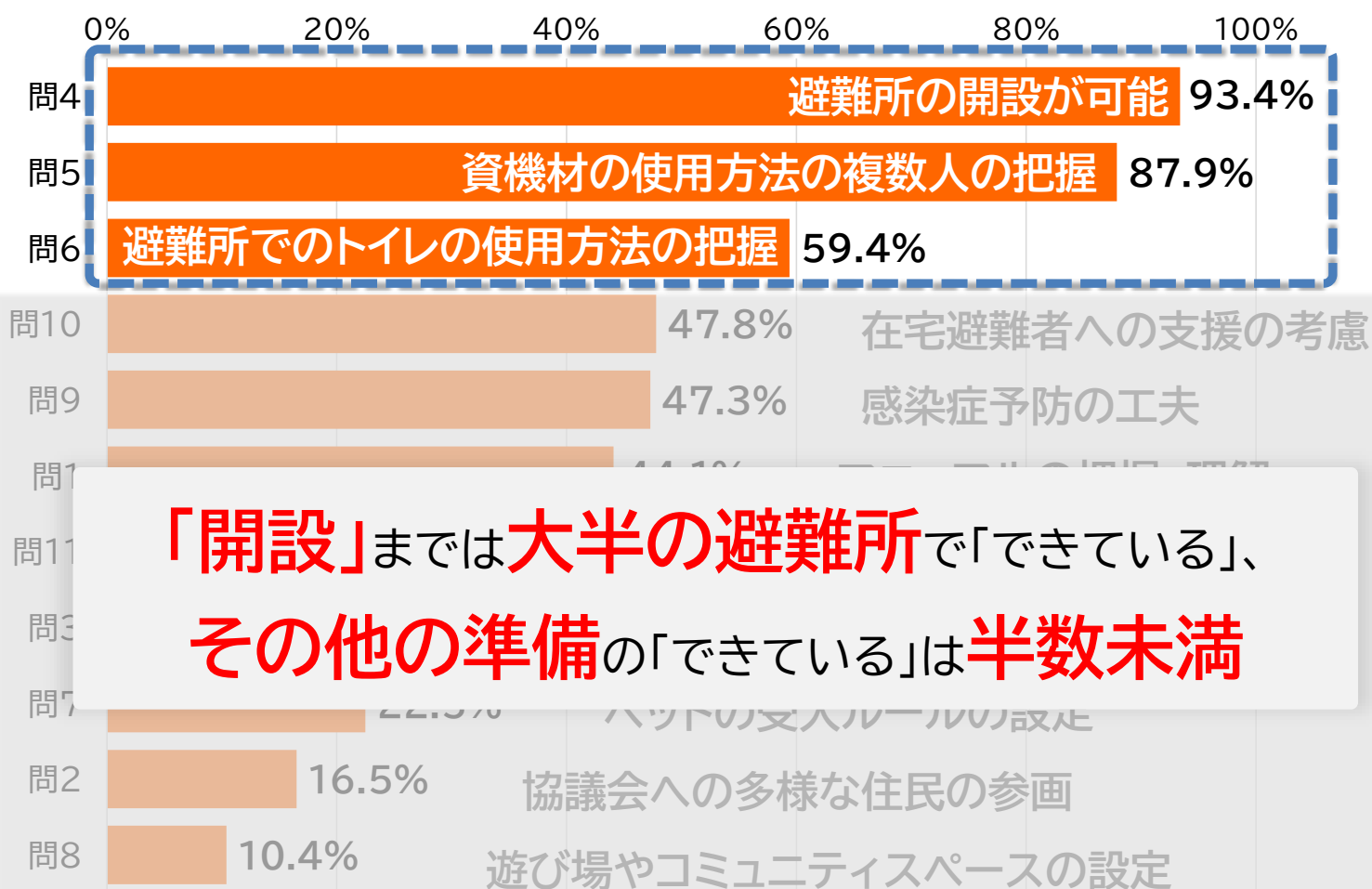


適切な内容との回答は **1/4**

避難所運営について「できている」割合



避難所運営について「できている」割合



「開設」までは**大半の避難所**で「できている」、
その他の準備の「できている」は**半数未満**

各避難所運営マニュアルの内容・運用の工夫

- ① 見直しや訓練の継続的な取り組み
- ② 着実な引き継ぎや住民への周知、体制づくりの工夫
- ③ 充実した内容、独自のマニュアルの作成
- ④ 諸室を確保、レイアウトを工夫
- ⑤ 地域の集合場所の見直し
- ⑥ 在宅避難の推奨や寺、ホテル、ゲストハウスとの連携等負担を軽減
- ⑦ ICT技術を活用
- ⑧ 複数の避難所対応、少人数での開設等運用方法の工夫
- ⑨ 危険箇所の改善、防災まちづくり計画作成等地域全体を安全に
- ⑩ 避難、安全面を考慮し避難所を変更、自治会館を活用

各避難所運営マニュアルの更新に向けた課題

- ① 避難所の収容人数・備蓄・倉庫が不足、空調・耐震性に不安
- ② 役員中心の運営から、避難者中心の運営への方針転換
- ③ 複数の避難所、長期的な運営への対応が不安、体制が脆弱
- ④ 訓練不足、参加者不足
- ⑤ 役員の高齢化、固定化、人材不足、住民の高齢化
- ⑥ 若手、人材の育成、引き継ぎが不安
- ⑦ 要配慮者、高齢化への対応
- ⑧ 区、消防、支援者育成、アドバイザー派遣等支援体制を強化

各避難所運営マニュアルの更新に向けた課題

- ⑨ 避難所訓練、運営の指導、マニュアル作成などについて、**行政が主導**してほしい
- ⑩ **在宅避難者、帰宅困難者、外国人観光客、町内会未加入者**への対応
- ⑪ **車の乗り入れ、車中泊、ペットの受入**への対応
- ⑫ **災害特性、立地特性、施設特性を考慮**すべき
- ⑬ **集会所、自治会館等を避難所として活用**すべき
- ⑭ コミュニティの弱体化、マニュアルの**周知**、無関心者の**意識向上**
- ⑮ マニュアルの印刷費、自主防災会の**予算不足**

京都市避難所運営マニュアルの改定に向けた意見

- ① スフィア基準等**避難所の生活環境**の改善、備蓄・資機材・空調の充実
- ② 自主防災会の**役員不足、高齢化を考慮**した改定
- ③ **在宅避難**の推奨と**要配慮者**の把握と円滑な対応
- ④ **車での避難者、車中泊**等への対応、**ペット**対応
- ⑤ **複数の避難所開設、運営**を考慮したマニュアル
- ⑥ 地域状況に応じた**より安全な避難先**の選定、**広域避難**の想定

京都市避難所運営マニュアルの改定に向けた意見

- ⑦ 自主防災行動マニュアルと避難所運営マニュアルの一体化
- ⑧ 「簡潔」「見やすい」「具体的」内容、「開設手順資料」追加
- ⑨ 「チェックリスト」追加
- ⑩ 訓練内容の紹介
- ⑪ 受付等へのICT技術の活用、デジタル版マニュアルの作成
- ⑫ 他学区の事例の紹介